

## 1 題材 資源や環境を考えた消費生活をめざそう

## 2 目標

- (1) 環境や資源に配慮した生活の工夫について関心をもち、よりよい環境にするために自分たちにできることを積極的に見つけようとする。 (生活や技術への関心・意欲・態度)
- (2) 環境や資源に配慮した生活について課題をもち、その解決をめざして自分なりの工夫をしたり、新たな方法を考えたりすることができる。 (生活を工夫し創造する能力)
- (3) 自分の生活を点検し、環境や資源に配慮した生活の工夫について、計画を立てて実践することができる。 (生活の技能)
- (4) 生活の仕方と環境や資源とのかかわりに関する基礎的な知識を身につけることができる。 (生活や技術への知識・理解)

## 3 指導にあたって

## (1) 題材について

今日の生徒を取り巻く状況を見ると、大量消費の生活に慣れ、資源・エネルギーを消費し、次々にものを買って捨てる生活を繰り返しているのが現状である。こうした消費生活が、家庭や地域そして地球の環境にも大きく影響していると考えられる。子どもたち一人一人が環境の担い手であるという視点に立ち「生きる力」を育てていくためにも、自分たちのこれまでの生活を振り返り、改善していくことは重要であると考えられる。

本題材は、学習指導要領D「身近な消費生活と環境」とB「食生活と自立」の2項目で構成した。資源や環境を考えられる賢い消費者をめざしながら、食品の選択、調理、片付けといったそれぞれの行動や一連の食生活を実践することが、環境を大切に作る心豊かな暮らしを創っていく楽しさや喜びを感じることができると考える。そのために、自らが食生活を皮切りに消費生活を振り返り、見直し、環境に配慮しながら主体的に生活を工夫して営む能力を育てるために、課題を見出し解決を図る問題解決的な学習を充実させていきたい。その結果、これまでの生活を少しでも改善しようとする創造性や主体的に取り組む態度、集中力や忍耐力、協調する態度を醸成することができると考え、本題材を設定した。

## (2) 生徒の実態（平成21年11月4日 男子16名 女子19名 計35名実施）

項目	結果			
1 家で調理(手伝いも含む)をするか。	週に4日以上する	3名	週に2～3日する	9名
	1ヶ月に2日くらいする	10名	ほとんどしない	13名
2 旬の食品をどれくらい知っているか。	よく知っている	1名	代表的な物なら知っている	6名
	2～3なら知っている	18名	あまりわからない	10名
3 地球環境が悪くなっていく傾向をどう思うか。	破壊をくい止めたい	2名	気になる心配である	27名
	しょうがない	2名	興味がない	4名
4 生活の中で、ごみを減らす工夫をしているか。	している	8名	していない	27名
5 この夏よく飲んだ飲み物は、どのような容器に入っていた物を購入したか。(複数回答)	大型ペットボトル	22名	500mlペットボトル	9名
	350mlペットボトル	4名	缶	2名
	紙パック	2名	その他(自家製)	1名

部活動や塾通いもあるためか、家庭生活において積極的に調理に参加する生徒は少ない傾向にあり、親に頼った生活を送っているのが現状である。また、自分の住む環境が悪化することに恐れを抱いていても、それをどうしたらよいのか考えたり、実践したりするにいたっていない。また、調理実習の様子から、調理の知識や技能に大きな差もあることから、食生活と資源や環境が密接につながっていることを知らせ、自分たちの生活を見直し改めるきっかけをつくることは、消費者としての自覚を育むことにつながると考える。

## (3) 指導観

この題材を通して、資源や環境を考えた消費生活に必要な基礎的・基本的な知識や技術の定着と広がりを図る。さらに、それらの知識や技術を積極的に活用したり、工夫したり、創造したりする能力と実践しようとする意欲的な態度などの生活に生かす力を育てることを重要視し

て指導にあたる。

本来は、家庭生活でのさまざまな場面を振り返ることが前提となるが、一人一人の生活経験や生活に対する意識の違いが大きいため、日常食の調理での実習場面を振り返ることを通して、問題を見いだすようにした。さらに、食品選択の重要性、環境に配慮した生活の必要性を実感し、消費者としての自覚を高めていくことが大切であると考え。そのためには、自ら問題を見だし、解決のために情報を収集し、収集した知識や技術の中から有効な手立てを選択し、更に調査したり、実践したりできるようにする。

本時の学習では、日常生活に近い体験的な学習を通して、食生活全般において、どのような行動をすることが資源や環境を守ることにつながるのかについて追究した結果を発表しあう。さらに、他の人の意見を参考にして、自分や家族の資源や環境を考えた食生活の在り方を見つめ直すことで、消費者としての自覚を高めていきたい。

#### 4 指導計画（7時間扱い） は本時

次	時	指導項目					観点別評価規準	
			関心意欲	工夫創造	技能	知識理解	おおむね満足できる状況(B)	十分満足できる状況(A)
1	1	・ハンバーグの調理実習を振り返ろう。					自分の生活の仕方を振り返り、環境や資源とのかかわりについて関心をもち、問題点を見つけようとしている。	自分の生活の仕方を振り返り、環境や資源とのかかわりについて関心をもち、問題点を見いだすことができる。
		・実習のようすから、自分の興味・関心に応じて課題を設定しよう。					学習したいことを見つけ意欲的に取り組もうとしている。  自分の生活を振り返り、環境にやさしい生活をするための課題を決定できる。	自己の興味・関心から問題解決的な学習について、意欲的に取り組んでいこうとする。  よりよい生活をするために自分の生活を振り返り、環境にやさしい生活を目指すことについて積極的に考え、課題を設定することができる。
2	2	・課題解決に向けて、情報を収集しよう。					環境にやさしい生活をするための資料を探したり、情報を集めたり、自分の決めた追究方法で調べることができる。	環境にやさしい生活をするために、資料を探したり、関係者に問い合わせたりするなど、熱心に調べている。
	1	・各自の計画に従い、追究活動を行う。					環境にやさしい生活をするための追究計画を立て、活動を進めることができる。	環境にやさしい生活をするための具体的な追究計画を立て、主体的に活動を進めることができる。
	1	・収集した情報をもとに、試してみる。					環境にやさしい生活を目指した課題解決において、自分なりの工夫をしたり、新たな方法を考えたりしている。	環境にやさしい生活を目指した課題解決において、収集した情報を実践した結果をもとに、自分の生活で生かすことのできる方法を発見することができる。
3	1	・課題追究したことをまとめよう。					自分の生活の仕方が、環境にどのような影響を与えているかについて理解できる。	自分の生活の仕方が、環境にどのような影響を与えているかについて、その相関性と対策について理解できる。
	本時	・学習の成果を発表し合い、生活に生かそう。					環境や資源にやさしい生活を目指した発表を聞き、自分なりの考えをもってよりよい生活を築こうとする。	環境や資源にやさしい生活を目指して、あらゆる角度や視点から具体的な考えを見だし、積極的に実践しようとしている。

5 本時の学習

(1) 目標

各グループの発表をもとに、資源や環境に配慮した消費者を目指して、よりよい生活を築こうとする。  
(生活や技術への関心・意欲・態度)

(2) 準備・資料

発表原稿，掲示資料，実物資料，視聴覚機器，レジュメ，ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容		教師の支援と評価
<p>1 本時の課題と学習の流れについて確認する。</p> <p>各課題の発表を聞き，資源や環境に配慮した消費者を目指して，実践したことを広めよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題を明確にし，生徒一人一人の意欲を喚起したい。</li> <li>授業の流れを知らせ，生徒が主体的に活動できるようにする。</li> <li>それぞれの実践発表を聞いて，実践する人が増えることで，自分たちの生活や環境が守られていくことを伝える。</li> <li>それぞれの班がどのような内容を発表するのかをつかめるようにする。</li> <li>発表はメモをしながら聞き，質問や感想を積極的に述べ合うよう助言する。</li> <li>各班への支援を次のように行う。</li> </ul> <p>1班：旬の食材がなぜ環境によいのかを知らせるとともに，資料や学校栄養士からインタビューした旬の食材，下妻産の食材について発表できるように助言する。</p> <p>2班：無駄のない買い物のしかたや食品の準備のしかたについて調査した結果を，実物や写真等を提示してわかりやすく発表できるよう助言する。</p> <p>3班：無駄のない調理のしかたや調理例をビデオや写真等を提示して，わかりやすく発表できるよう助言する。</p> <p>4班：調理実習で問題となったガスの使い方（濡れた鍋を直接火にかける）について，比較実験した結果を発表させ，経済面でも効果があることにふれるよう助言する。</p> <p>5班：調理実習で多くの班が用いたじゃがいものゆで方に焦点をあて，さまざまな方法で実験した結果を発表させる。早く火が通ることは省エネにつながっていることにもふれるよう助言する。</p> <p>6班：食器の洗い方について得た情報から，有効だった方法をビデオや実演でわかりやすく発表できるよう助言する。</p>
<p>2 課題追究の発表を行う。</p> <p>(1) 各班ごとに発表の主張点を提示する。</p> <p>(2) 各グループごとに発表を行う。</p>		
班	課題	
1班	旬の食材を利用しよう	
2班	ゴミを減らすためには	
3班	エコクッキング	
4班	ガスの省エネ	
5班	じゃがいもをゆでる工夫	
6班	地球にやさしい洗い方	
<p>3 発表をもとに，意見を交換し合う。</p> <p>(1) 意見の交換をする。</p> <p>(2) 自分の決意をワークシートにまとめる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発表する側と聞く側でのやりとりできる雰囲気づくりができるよう支援する。</li> <li>お互いの発表を相互評価する時間とする。</li> <li>意図的指名を取り入れて，環境にやさしい生活をするための改善点や工夫点をひきだし，学習を広め深めていきたい。</li> <li>各班の発表や他の人の意見を聞いて，自分にできそうなことや家族に伝えたいことをまとめられるよう支援する。</li> </ul>
<p>4 本時の活動について振り返り，まとめを行う。</p> <p>自己評価を行い，本時の活動を振り返る。</p>		<p>評 本時の学習を通して，資源や環境を考えた消費生活目指して，よりよい生活を築こうとしている。</p> <p>ワークシート・自己評価カード (関心・意欲・態度)</p>